

令和5年度環境活動報告

部局名： 教育学部

教育

- ・社会科教育(地理学)では、野外実習およびフィールド調査を取り入れた授業(地誌学基礎演習(10月、2月)、地理学野外実習Ⅰ(2月)、地理学野外実習Ⅱ(3月))を行った。
- ・化学3年生に対する「環境化学」という講義のなかでSDGsの考え方、グリーンケミストリーなどに関する講義を行った。持続可能な開発のための化学の在り方など議論を行った。
- ・理科教育(化学)では、学部1年に対して、「化学実験及びコンピュータ処理」という講義のなかで、薬品の危険性・毒性および取り扱いなどを講義した。
- ・理科2年生に対する理科Ⅱの授業のなかで、酸性雨・CODなどの水のごれなどを調べる基本事項、セッケンや合成洗剤についてを講義した。
- ・理科教育講座(地学)において「地球システム論」、「地球物理学実験」、「地学実験」、「地質学」、「地球環境論」、「地質学鉱物学実験」、「地球科学野外実習」、小学校「理科」、「理科Ⅳ」で岐阜県内を中心とした自然環境に関する講義と実習を行った。
- ・教育学部講義「動物生理学及び実験」(理科教育・生物・2年生)で、岐阜大学周辺での水生生物の採集・種同定を通じた、河川環境の評価を実施した。
- ・大学院講義「生物科学特論Ⅰ」で、学部園場での植物観察・栽培飼育を通じて動植物と親しむとともに、「いきもの」に接する楽しさと生命を預かる責任についての学習を行った。
- ・全学共通教育講義「岐阜県の生物の分布と生態」で、河川の問題に関する講義・岐阜市および東海地方の植物相、外来生物、希少生物、環境保全に関する講義を行い、関連する内容のレポートを提出させた。
- ・大学院講義「生物の構造と機能および生物と環境の関わりに関する学習」で、身近な植物の観察を行い、児童生徒への学習方法について考察し、より良い環境教育のあり方を論じた。
- ・教育学部講義「植物形態学及び実験」(理科教育・生物・3年生)岐阜大学キャンパスでの植物の観察・採集・種同定を通じて、キャンパスの自然を評価した。
- ・教育学部講義「初年次セミナー」(理科教育・1年生)街中や岐阜大学キャンパスでの植物の観察・採集・種同定を通じて、身近な自然環境・生物多様性を学習した。
- ・(小)理科教育法(2年生)で地球環境や生態系の保全に対する理解を促す講義を行った。
- ・教育学部講義「理科」(2年生)で、身近な場所で観察できる植食性昆虫や、花の構造に関する課題に取り組ませた。
- ・教育学部講義「植物生態学概論」(理科教育・生物・2年生)で、定期的にキャンパス内の動植物の観察をして学生間で意見交換する授業内のブログ課題に取り組ませた。
- ・教育学部講義「生物学特論Ⅰ」(理科教育・生物・4年生)で、乗鞍高原にて1泊のキャンプ実習を実施し、自然観察を行い、飛騨地域の環境と生物の関わり合いについて体感させた。
- ・教育学部講義「遺伝学」(理科教育・生物・2年生)で、昆虫の寄生や細胞内共生などの生物間相互作用などに関する教育を行った。
- ・教育学部講義「理科Ⅲ」(理科教育・2年生)で、生態系における生物間相互作用や物質循環などに関する教育を行った。
- ・附属小中学校の第4学年の「どう生きる科」で、身近な動物について学び、飼育や動物の命について共同学習を実施した。
- ・教育学部講義「生活」(2年生)において、学部園場での身近な植物観察と栽培を行い、学生の生命尊重心・自然愛護心を育んだ。
- ・教育学部講義「細胞分子生物学及び実験」(理科教育・生物・3年生)岐阜大学キャンパスでの昆虫の採集・種同定・形態測定を通じて、キャンパスの自然を評価した。
- ・美術教育講座では、全共科目「森と美術」を後期に実施した。受講学生10人、岐阜大学内試験林において、樹木観察やスケッチ、木を用いた工作活動を行った。
- ・美術教育講座の授業「彫塑1」において、生物多様性をテーマに木彫制作に取り組んだ。
- ・「家庭科概論、住居学概論、家庭電気機械」において「持続可能な住まいと環境」に関する講義を実施した。
- ・「家庭科教育法Ⅳ」において「環境とライフスタイル」情報と環境、ライフスタイルの関係について考えた。
- ・「食品学概論、調理学実験法及び調理実習」において、食品ロスに関する実情や取り組み、調理を行う際に環境負荷の軽減に着目した操作について説明を行った。
- ・「食生活演習、栄養学」において、エネルギー・栄養素フローを通じた自然と環境と人体との調和、及び食文化について講義を行った。
- ・「被服構成学実習」において、持続可能な衣生活と環境に関する講義を実施した。
- ・学部ホームページ上において、公開講座の募集など教育学部教員の取り組みを紹介した。
- ・附属小中学校の第2学年の「どう生きる科」で、植物の栽培について学ぶ学習を実施した。

研究	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の野生植物の複数種について、花の形態変異を計測し、遺伝的多様性について評価した。 ・環境教育の理論研究の書籍として、「環境教育学のために」(今村光章、めるくまー社、2023年)を刊行した。 ・附属小中学校との共同研究として「身近な植物の観察」の研究授業を実践し、身近な環境に見られる生物への子供たちの興味関心・愛護心の向上に貢献した。 ・絶滅が危惧されるものを含む当地域の植物について、種分化と系統進化に関する研究を行い、得た知見を学会で発表した。 ・書籍「長良川のアユと河口堰 川と人の関係を結びなおす」において、アユの漁獲高の変化から、河口堰による環境への影響を論じた。 ・理科教育講座(地学)において、湖沼堆積物や生物化石に記録される過去の気候・環境の復元や、雨水、河川水、湖水の水文学的分析による現行の環境変化の研究を行った。 ・環境にやさしいグリーンケミストリーというテーマでの研究を行っている。そのなかで、水の再利用可能な炭素-炭素結合の論文を報告することができた。 ・関市におけるシシ垣や里山を利用した生活に関する教材化をテーマに研究を行っている。その中で、関市郷土史研究会会長に聞き取り調査を行うことができた。さらに、関市立武芸小学校の校長へ小学校の総合学習の取り組みについて聞き取り調査を行うことができた。 ・社会科教育(地理学)において、伝統野菜や郷土食に関する調査研究を行い、得た知見を学会で発表した。
社会連携	<ul style="list-style-type: none"> ・本学部教員(理科教育・生物・古屋教授)が、今年度、岐阜県自然環境保全審議会委員、岐阜県レッドデータブック改定調査検討委員会・委員長を務めた。 ・本学部教員(理科教育・生物・古屋教授)が、今年度、愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会委員を務めた。 ・本学部教員(理科教育・生物・須山准教授)が、今年度、飛騨地域エコロード委員(国土交通省)、岐阜県環境影響評価審査会、愛知県環境影響評価審査会、岐阜県自然環境保全審議会、岐阜県レッドデータブック改訂調査検討委員、豊橋市文化財保護審議会委員を務めるとともに、岐阜県内各所の開発予定地における環境アセスメント調査結果の現場検証や相談に対する指導・助言を行った。また、岐阜県植物研究会・運営委員、岐阜県植物誌調査会・幹事として、岐阜の植物相と植生の調査研究及び絶滅危惧種の評価を行った。 ・本学部教員(理科教育・生物・須山准教授)が環境保全や自然観察を行う学生サークル(G-amet、生物科学研究会)などへの標本作成指導および活動をサポートした。 ・本学部教員(理科教育・生物・須山准教授)が「2023岐阜大学公開講座」、美濃加茂市民ミュージアム講座、大垣市奥の細道むすびの地記念館植物観察講座、各務原西ライフデザインセンター講座、各務原市各務野科学ラボの講師を勤め、様々な生物を使った観察実験をもとに、一般および子供たちの生物・環境への興味関心・愛護心の向上に貢献した。 ・本学部教員(理科教育・生物・三宅教授)が大学連携研修(6年目研修・高校理科)で、コロナウイルスの変異や進化に関する教員研修を行った。 ・本学部教員(理科教育・生物・三宅教授)が、県立加茂高等学校で、身の回りの送粉系に関する出前授業を行った。 ・大学連携研修(6年目研修)で「岐阜県における大地のつくり」に関する内容で岐阜県の小中学校の教員研修を行った。 ・各務原市の小学校高学年を対象に環境放射線についての授業を実施した。 ・各務原市の小学校高学年を対象に自然界の光の性質についての授業を実施した。 ・福島県大熊町での環境放射線研修にて放射線測定の講師をした。 ・岐阜市の小中学生を対象に環境放射線についての授業を実施した。 ・本学部教員(社会科教育・地理・橋本准教授)が、岐阜県の「岐阜県第二種特定鳥獣管理計画(ツキノワグマ)」の改訂に当たり、岐阜県特定鳥獣保護管理計画検討会科学部会の委員を務めた。
キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・環境及び省エネルギーに関する教育訓練再確認シートの記入を実施し、3月からは再確認シートのフォームスによる実施を行った。 ・学生ガイダンスの際に、ISO14001に対する大学としての取り組みを紹介した。